

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2002年10月1日

2002年9月29日現在

9月29日に終わる1週間の州平均農作業可能日数は5.6日であった。土壌水分は前週の降水で多少改善された。降水は北中央部、北東地区及び中央地区で見られた。気温は最高気温が65～69度F、最低気温が25～33度F程度でありほぼ平年並みと言える。

2003年産冬小麦は74%の圃場で完了し、平年(52%)並びに昨年(67%)より早い進捗である。31%の圃場で出芽しており、生育状況も昨年(20%)、平年(17%)より早い。

2002年産春小麦は、9月29日現在91%の圃場で収穫が完了した。昨年(99%)並びに平年(97%)より遅れている。

土壌水分：

Topsoil

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Very short (%)	18	22	53	28
Short (%)	36	36	34	44
Adequate (%)	46	42	13	28
Surplus (%)	0	1	0	0

Subsoil

Very short (%)	39	37	53	35
Short (%)	36	39	37	40
Adequate (%)	25	24	10	25
Surplus (%)	0	0	0	0

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
2003 Winter wheat				
Seeded (%)	74	51	67	52
Emerged (%)	31	10	20	17
Spring wheat				
Harvested (%)	91	86	99	97

Source: Montana Agricultural statistics Service

2002年産硬質春小麦の品質：

モンタナ州東北部の品質は、此れまでの情報に拠れば昨年に比較し高蛋白質、低容積重と報告されている。蛋白質(as is moisture)は平均15.5%、容積重は58.46lb/bu程度とのレポートがある。昨年同時期・同地区の蛋白質は平均14.18%であった。